



国際芸術センター青森での個展風景 2022年

住民参画型アートプロジェクト 小田原のどかつなぎプロジェクト成果展 2023

近代を彫刻／超克する 津奈木・水俣篇 [序]

【プロジェクトと成果展の概要】

つなぎ美術館では、アーティストと住民が1年から3年かけて協働で展覧会などの表現活動を目指す住民参画型アートプロジェクトを2008年から実施してきました。2023年度からは2か年事業として彫刻家で彫刻研究者でもある小田原のどか氏を招聘し、「小田原のどかつなぎプロジェクト」を実施します。当プロジェクトでは、小田原氏が7名の住民を中心とする実行委員と情報やアイデアを交換しながら地域の文化的資源や課題を掘り起こし表現活動へとつなげてゆきます。1年目は選挙の投票所を模した会場で津奈木町にある16点の野外彫刻のうち気になる彫刻に投票してもらい公共空間における彫刻やモニュメントのあり方について考える「彫刻選挙」を実施します。どなたでも投票いただけます。

【アーティストプロフィール】

小田原のどか（おだわらのどか） 彫刻家 彫刻研究者

1985年宮城県生まれ。多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業後、東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了後、筑波大学大学院人間総合科学研究科にて芸術学博士号を取得。歴史を掘り起こし社会現象に照らして今注目すべき問題を作品や評論を通じて世に提起している。多摩美術大学などで非常勤講師も務める。東京都在住。評論家としても活動し、『芸術新潮』『東京新聞』に美術評を連載。主な単著に『近代を彫刻／超克する』講談社、2021年

【プロジェクト名称】小田原のどかつなぎプロジェクト

【プロジェクト期間】2023年4月28日～2025年1月31日

【成果展名称】小田原のどか近代を彫刻／超克する—津奈木・水俣編 [序]

【成果展会期】2023年9月9日（土）～2023年11月19日（日）

【成果展会場】つなぎ美術館3階展示室

【成果展内容】投票所を模した会場での「彫刻選挙」の実施

【成果展関連プログラム】

アーティストトーク（アーティストの話を聞きながら展示室を巡ります）

日時：9月9日（土）14:00～14:30 ゲスト：小田原のどか 会場：つなぎ美術館3階展示室

参加費：無料 定員：20名（申込不要・当日先着順）

対談「彫刻と社会：津奈木町から考える」

日時：9月10日（日）14:00～15:30 ゲスト：山本浩貴 小田原のどか 司会：楠本智郎（つなぎ美術館学芸員）

会場：グリーンゲイト2階（つなぎ美術館横） 参加費：無料 定員：30名（申込不要・当日先着順）



山本浩貴（やまもとひろき）：文化研究者、アーティスト

1986年千葉県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、ロンドン芸術大学にて修士号・博士号取得。現在、金沢美術工芸大学美術工芸学部美術科芸術学専攻講師。単著に『現代美術史 欧米、日本、トランスナショナル』（中央公論新社、2019年）、『ポスト人新世の芸術』（美術出版社、2022年）、共著に『レイシズムを考える』（共和国、2021年）、『新しいエコロジーとアート 「まごつき期」としての人新世』（以文社、2022年）など。

茶話会「アート／政治、の二項を超克する」

日時：10月30日（月）14:00～15:00 ゲスト：小松原織香（哲学研究者） 小田原のどか

会場：つなぎ美術館2階喫茶室 参加費：1,000円

定員：6名（公式ウェブサイトからの事前申込による抽選／9月1日（木）20時申込締切）

開票（アーティストとともに彫刻選挙の開票を行います）

日時：11月19日（日）15:00～16:00 ゲスト：小田原のどか

会場：つなぎ美術館3階展示室 参加費：無料 定員：20名（申込不要・当日先着順）

【主催】つなぎ美術館（津奈木町） 【助成】（公財）水俣・芦北地域振興財団

【観覧料】無料 【観覧時間】10:00～17:00（入館は16:30まで） 【休館日】水曜日（祝日の場合は翌平日）

【問い合わせ先】つなぎ美術館 熊本県葦北郡津奈木町岩城494 TEL：0966-61-2222 www.tsunagi-art.jp

企画：楠本智郎 t.kusumoto@tsunagi-art.jp 広報：曾地啓介・桜場 press@tsunagi-art.jp



彫刻選挙のためのポスター